

ハイブリッド
開催

明日から役立つ口腔顔面痛と神経の深い関係

北海道医療大学歯学部歯科麻酔科学分野

照光 真 教授（歯学科31期生）



ご略歴

1983年 早稲田大学第一文学部 心理学専攻 卒業
2001年 新潟大学歯学部 歯学科 卒業
2005年 新潟大学大学院医歯学総合研究科 修了 博士(歯学)
2005年 新潟大学脳研究所附属統合脳機能研究センター 助手・助教
2008年 新潟大学脳研究所附属統合脳機能研究センター 准教授
2010年 新潟大学医歯学総合研究科 歯科麻酔科学分野 准教授
2017年～ 北海道医療大学 歯学部 歯科麻酔科学分野 教授
2018年～ 東京歯科大学 スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科 臨床教授

歯科診療は、痛み始まり痛みの解決で終わることが多い。しかし、ペインクリニックでは痛みの解決が困難なことが多々ある。その背景には、末梢と中枢の神経機構が複雑な絡み合いがある。本講では、口腔顔面領域の痛みと神経、痛みを診るために役立つ(かもしれない)知識をお伝えしたい。

痛みとは、そもそも何か。痛みの学説がどのように変遷したかをたどり、文化的背景を探る。

神経損傷は埋伏智歯抜歯が原因となりやすい。もし神経障害に遭遇した場合の初期対応の判断フローチャートを紹介する。神経MRIで見る正常と病変部位の比較、CT画像から神経損傷の類推、人工神経管を用いた生体内神経再生による治療例を供覧する。また、注意すべき、歯内療法での水酸化カルシウム製剤の根尖漏出による神経障害、智歯抜歯時の舌神経損傷リスクに対する新たな仮説にも触れる。

痛みを脳で異常に増幅する中枢性感作は慢性疼痛の一つの要因である。痛みへの注意と報酬を司る脳のネットワークに焦点をあて、患者群の特徴や、脳の興奮性と抑制性の神経代謝産物による神経ネットワーク変調について研究所見を示す。最後に、難治性の慢性疼痛患者の治療は、医療者にとっても困難で精神的な負荷も大きい。患者に接する時の注意ポイントや心理状態を変容させる治療についても言及したい。

会場 & ライブ配信

見逃し配信

新潟大学歯学部講堂 または Web参加
2024年 11月10日(日) 10:00～12:00
【申込締切 11月3日(日)】

2024年
12月2日(月)～12月22日(日)

※見逃し配信のみの申し込みは受付けておりません
※申込者全員、見逃し配信が視聴できます

定員

会場 60名

ライブ配信 100名

受講料

・同窓会費口座自動振替利用者
・同窓会費前納制度払込済み卒業後5年以内
・歯科医師以外の職種

同窓会員(歯学科)・
準会員

同窓会員以外の
歯科医師

会場、ライブ配信とも

無料

2000円

5000円

申込方法

二次元コードから
お申込みください



同窓会HPのTOPページへ移動
しますので、下方へスクロール
し、該当するセミナーを押して
下さい。

二次元コードが読み取れない場合、
同窓会ホームページよりお申込み下さい

<https://al-dent-niigata-u.jp>

※ 日本歯科医師会会員の方は、日本歯科医師会生涯研修事業の単位を取得できません

【お問い合わせ先】同窓会事務局 025-229-4166 / gakujuutsu@al-dent-niigata-u.jp